



## 三重総合高校の支援を

～支援組織の結成を協議～

質

市内にはたつた一つ  
しかない高校となり、  
市民にとっても大事な  
宝物である。  
もつと応援すべきと  
の観点から、次の3点  
を伺う。

①市内各中学校の三  
重総合高校への受験生  
数と比率は。  
②現在の支援組織の  
状況は。  
③市民の支援意識の  
向上について、市の考  
えは。



赤嶺謙二

答 教育長

①各中学校の受験生  
数は、三重87人、清川  
3人、緒方13人、朝地  
8人、大野11人、千歳  
5人、犬飼5人、合計  
132人で、全中学生  
の37・5%でございま  
す。

②本年1月から、「三  
重総合高校を育てる会

(仮称)」の立ち上げを、  
高校側と市で連携した  
協議を進めているところ  
でございます。  
③奨学金・入学準備  
金貸付制度の周知を図  
るとともに、中学校へ  
の情報提供や出前授業  
の受け入れなど、引き  
続き、連携を図つてま  
ります。



## 三重診療所の廃止は

～県にも責任の一端～

質 市長

今回の廃止の責任は、  
市よりも県にあると思  
う。  
補助金返済の話など、  
もつてのほかであり、  
これまでの経過を踏ま  
え、市は毅然とした態  
度で県と向き合うべき  
では。

医師確保ができるな  
かったことが大きな要  
因であり、病院統合に  
関する基本協定書第9  
条には、県と市が共同  
で全力をあげて取り組  
むこととなっています  
ので、今回の廃止につ  
きましては、県にもそ  
の責任の一端があると  
考えています。

※その他の質問  
・職員懲戒審査委員  
会について  
・大衆浴場、三重温  
泉の閉鎖について